

気候情報

2003年8月の日本の天候

低温・寡照（北・東日本）、高温・少雨（南西諸島）

8月の天気概況

上旬前半は太平洋高気圧が強まり東・西日本は晴れる日が多くなったが、上旬後半には台風10号が日本を縦断し、中旬にはオホーツク海高気圧が出現して前線が日本付近に停滞するようになったため、北日本～西日本では中旬を中心に低温・多雨・寡照が顕著となった。下旬に入ると、前半はオホーツク海高気圧が弱まって全国的に晴れる日が多くなったが、後半は前線が再び南下して日本付近に停滞するようになり曇りや雨の日が多くなった。南西諸島は太平洋高気圧に覆われたため、晴れて暑い日が多く少雨の状態が続いた。

上旬：太平洋高気圧が強まる一方でオホーツク海高気圧が弱まったため、東・西日本は晴れる日が多くなり低温・寡照傾向は解消に向かった。北日本は7月に比べると緩和されたものの、低気圧や前線の影響を受けたため、引き続き低温・寡照傾向が続いた。また、後半には台風10号が南西諸島を通して四国に上陸し、その後日本を縦断する形で北上し、各地に大雨や強風による災害をもたらした。**旬平均気温**は、北日本で低く南西諸島で高かった他は平年並であった。**旬降水量**は、東日本日本海側で平年並であった他は多かった。**旬日照時間**は、北日本と東日本太平洋側で少なかった他は平年並であった。

中旬：オホーツク海高気圧が強まったため、再び前線が日本付近に停滞するようになり、北日本日本海側や南西諸島を除き曇りや雨の日が多くなった。また、オホーツク海高気圧や寒気の影響で南西諸島を除き気温は平年をかなり下回った。そして東・西日本では降水量がかなり多くなった。**旬平均気温**は、南西諸島で高かった他は低かった。**旬降水量**は、北日本と南西諸島で平年並となった他は多かった。**旬日照時間**は、北日本日本海側と南西諸島で平年並となった他は少なかった。

下旬：前半はオホーツク海高気圧が弱まり太平洋高気圧が強まったため、全国的に晴れる日が多くなり、中旬の低温・寡照は解消に向かった。しかし、後半になると前線が再び南下して日本付近に停滞するようになり南西諸島を除き曇りや雨の日が多くなった。**旬平均気温**は、北日本で低く、西日本と南西諸島で高かったが、東日本は平年並であった。**旬降水量**は、東・西日本日本海側で多く、北日本太平洋側と南西諸島で少なかった他は平年並であった。**旬日照時間**は、北日本

と東・西日本日本海側で少なく、南西諸島で多かった他は平年並であった。

8月の気候統計

平均気温：南西諸島と西日本の太平洋側で平年を上回ったほかは、全国で平年を下回った。北日本では平年を1℃以上下回った。

降水量：南西諸島と北海道の一部で平年を下回ったほかは、全国で平年を上回った。関東、東海では平年の170%を超えたところがあった。静岡（静岡県）、大島（東京都）、高松（香川県）の3地点で、8月の月降水量の最大値を更新した。

日照時間：南西諸島の一部で平年を上回ったほかは、全国で平年を下回った。東北では平年の60%以下となったところがあった。新庄（山形県）では8月の日照時間の合計が70.8時間（平年の40%）となって、8月の日照時間の最小値を更新した。新庄のほか大船渡（岩手県）、秋田（秋田県）、酒田（山形県）でも8月の日照時間の最小値を更新した。

（気象庁観測部統計室）

8月の記録（1位更新のみ）

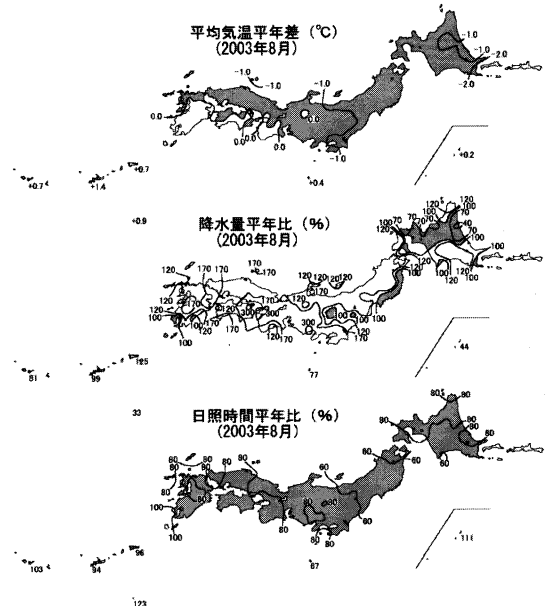
・月降水量多い方から（mm）

静岡 834.5 大島 531.0 高松 319.0

・月間日照時間少ない方から（時間）

大船渡 84.6 新庄 70.8 秋田 91.7
酒田 88.6

2003年8月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す